



平均賃金

— 平均賃金の基礎知識 —

◆平均賃金とは

平均賃金とは、算定すべき事由の発生した日以前3ヶ月間にその労働者に支払われた賃金の総額をその期間の総歴日数で除した金額をいいます。

◆平均賃金を算定基礎とする場合

1. 解雇予告手当
2. 休業手当
3. 年次有給休暇
4. 災害補償
5. 減給の制裁の制限額

◆平均賃金の算定方法

1. 原則式

$$\frac{\text{事由発生以前3ヶ月間に支払われた賃金総額}}{\text{事由発生以前3ヶ月間の総(暦日)日数}}$$
 ※賃金締切日がある場合の起算日は、直前の賃金締切日とします。

2. 例外式

日給、請負給、時間給等の場合は、3ヶ月間の賃金総額をその実労働日数で除した金額の60%を平均賃金の最低補償額とし、原則式で計算した額と比較して高いほうを用います。

- ①
$$\frac{\text{日給、時間給、出来高払などの総額}}{\text{事由発生日以前3ヶ月間の労働日数}} \times 60/100$$
- ② 賃金の一部が月給、週給などで定められ、①と併用される場合は、

$$\frac{\text{事由発生以前3ヶ月間に支払われた月給等の総額}}{\text{事由発生以前3ヶ月間の総(暦日)日数}} + ①$$

例外式②と原則式のいずれか高い方の金額

◆起算日

1. 解雇予告手当→解雇の予告をした日
2. 休業手当→その休業日の最初の日
3. 年次有給休暇→その休暇を与えた日
4. 災害補償→事故発生日または疾病の発生確定日
5. 減給の制裁の制限額→制裁の意思表示が相手方に到達した日

新型インフルエンザに関し

— 事業所の対策は —

◆新型インフルエンザとは

新型インフルエンザとは、毎年冬に流行を繰り返しているインフルエンザウイルスとは違うタイプであり、人類にとっては未知の感染症です。鳥類のインフルエンザが人に感染し、人の体内で増えることができるように突然変異し、人から人へと感染できるようになったものであり、このウイルスが感染して起こる疾患が新型インフルエンザです。

◆流行した場合の感染予測

日本政府は人口の約1/4が感染し、医療機関を受診する患者数は最大で2500万人と仮定しています。

これは過去の感染症の流行状況に基づいて推計された数であり、新型インフルエンザの感染力や病原性によって変わりますが、企業は発生状況に応じて柔軟な対応がとれるように準備しておく必要があります。

◆予防と対策

まずは発生前の準備が重要です。

企業の事前準備として①危機管理体制の構築②情報収集、及び周知方法の確立③業務運営体制の検討④感染予防の事前措置(手洗い、消毒など)⑤物品の備蓄(マスク、消毒用アルコール、食糧など)などが考えられます。

また、発生した場合は、①情報収集、及び周知②感染拡大予防措置(在宅勤務、電話会議、会合の中止など)③予防的措置の啓発(咳のエチケット、健康状態の自己把握)など、被害拡大を抑える処置が企業として求められます。

また、個人としてできる対策としては①うがい、手洗い、マスクの励力②二週間程度の食料の備蓄③家庭内計画の構築などが厚生労働省から公表されています。

総務担当者はもちろん、正確な知識把握の為に全従業員に厚生労働省のHPを閲覧してもらうことをおすすめします。

厚生労働省 新型インフルエンザ

検索

《声》

Aさんは、駅前商店街の中で中華食堂を四十年間営んでいます。中華食堂には珍しく、メニュー構成をダイナミックに変更しながら景気情勢に素早く応じています。

食堂で昼食に使う金額は夕食代などに比べると無かったり、毎日同じようなお客様が来る傾向になったりするためか、自店のお客様全体の流れを把握し易いものです。例えば、景気が悪くなると定食類中心になって客単価が下がったり、飲物メニューの注文が悪くなったり、油断するといったも来店しているお客様が段々と来なくなったりするものです。

Aさんは繁盛店作りのコツを「景気変動の気配を感じたら、なるべく早くメニュー構成を思い切つて変える。昼飯で景気がわかるよ」と言います。

